

7. 次年度以降の取組の方向性

山口県教育委員会では、来年度、新たに県立高校8校に学校運営協議会を設置し、全ての県立高校にコミュニティ・スクールを導入することとしている。本事業によって得られた成果をすべての高校で共有し、各学校の学校運営協議会の運営に生かしていくことで、各学校・学科の特色に応じて、地元地域や大学・企業等との協働体制を確立し、地域の活性化に貢献する、高校ならではの取組を実施していく。

また、全ての公立小・中・高等学校・総合支援学校等に導入されたコミュニティ・スクールの仕組みを生かし、中学校までの地域学校協働活動を高校につなげていく本県ならではの地域連携教育のスタイルを確立させるとともに、コミュニティ・スクールの活性化を図る。具体的には、連携・協働体制の構築・強化を行う「CS活動推進員」を県立高校に配置し、中学校・高等学校それぞれのコミュニティ・スクールが連携した取組を実施する。

なお、来年度においても本事業を引き続き活用し、普通科高校を研究指定校として、上記の新たな支援制度を活用し、今年度の成果と課題を踏まえた上で、生徒の学びと育ちを地域の中につなげていくモデルプランの策定をめざすこととしている。